

新日本石油化学 2005年度決算についてのお知らせ

記者各位

当社(社長:西尾 進路)の石油化学部門である新日本石油化学株式会社(社長:高橋 良昭)は、2006年5月31日に決算取締役会を開催いたしましたのでお知らせいたします。

[決算の概況]

2005年度においては、2004年度に実施した川崎事業所の大規模定期修理による生産数量減少の反転影響を受けて、同事業所の生産品であるエチレン等の販売数量は増加いたしました。また、堅調な内需とアジア向け輸出の伸びを反映して、新日本石油グループ製油所の生産品(プロピレン等)の販売が伸びた結果、総販売数量も2004年度に比べて増加いたしました。

販売価格については、原料価格が高水準に推移する中で、ほぼすべての製品が大幅に上昇いたしました。この結果、2005年度の売上高は、前期比18.8%増の4,135億78百万円となりました。

収益面では、引き続き徹底したコストダウンを実行するとともに、石油精製との連携強化による汎用品事業の競争力強化を推し進めたことにより、2005年度における経常利益は237億8百万円、純利益は143億30百万円とそれぞれ3期連続で過去最高益を計上する結果となりました。

[2005年度決算の概要](単位:百万円)

項目	前期(2005年3月期)	当期(2006年3月期)	増減
売上高	348,128	413,578	+65,450
営業利益	22,147	23,990	+1,843
経常利益	21,622	23,708	+2,086
当期純利益	13,995	14,330	+335

以上